

**一般企業向け
人材育成カリキュラム
ベーシック版**

● 一般社員養成シリーズ

⑤ 論理的問題解決力強化研修

JMI

株式会社 日本マネジメント協会（中部）

JAPAN MANAGEMENT INSTITUTE

〒464-0075 名古屋市千種区内山3-10-17 今池セントラルビル4F

TEL 052-745-6010 FAX 052-732-0010

MAIL jmi.145@aioros.ocn.ne.jp URL <http://www.jmi-web.co.jp>

研修内容

時間	項目	詳細、得たい成果
9:00	開講 オリエンテーション 講師自己紹介 本研修の目的と進め方の理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 本研修の目的を理解する。 ● 本研修の進め方として、座学だけでなく、ワークやグループ討議を織り交ぜて進めていくことを理解する。
	1. 問題解決の基本 【講義】	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題とは何か？問題とは、あるべき姿、ありたい姿とのギャップが埋められない状態。 ● 問題解決のプロセス ①問題発見(問題を認識する、課題を見つける)→②目標設定(あるべき姿・ありたい姿を明確にし、目標を決める)→③現状分析(現状を明確に捉える)→④原因分析→⑤対策の立案→⑥計画化(進捗の見える化)→⑦効果測定 of ステップをたどる。
	2. 若手社員が陥りがちな間違った問題解決 【講義】	<ul style="list-style-type: none"> ● いつまでに、この問題を解決したいのか？期日を決めてから問題解決の方法を考えることを忘れがち。 ● この仕事は何のためにやっているのか、目的を考えずに問題解決をしてしまいがち。 ● 他部署がどう考えているか、上司が何を望んでいるか、お客様が何を望んでいるかを考えずに、自分の好き嫌い、やりたいやりにたくないで問題解決をしてしまいがち。 ● 裏付けとなる数字を全く用いずに現状把握をしたり、原因分析をしたりしがち。 ● 他責の思いが強く、自責で考えられない(周りの人や、周りの環境のせいにして、自分の責任で問題が起きていると考えられない) ● 具体的でない対策になりがち。
	3. 現状を論理的に把握する 【講義・グループ討議】	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状を、他責ではなく、自責で捉える。 ● 4W2Hの観点で、様々な情報を集める。 ● 具体的な数値やデータがあるなら、それを日ごろから集める努力をする。
	4. 論理的に原因分析をし、対策立案を行う(創造力を高める) 【講義・グループ討議】	<ul style="list-style-type: none"> ● 複眼的視点(多面的視点)で考える。一方向からだけの単眼的視点での原因分析、対策立案は避ける。いろいろな方向から発想する癖をつける。切り口を覚えて、その切り口で発想する。 ● 真の原因を追及する、具体的な対策を創出する ロジックツリー(イシューツリー)で具現化する。 「なぜ?」、「そのためには?」を繰り返す。 ● 具体的に対策を考えるために以下の質問を自問自答する。 ● 「具体的に言うときどういうことか?」、「他には?」、「例えば?」
	5. 計画力と進捗管理力を高める 【講義・グループ討議】	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決に向け、いつ、誰が、誰と協力し、何を、どのレベルまで、実施するのか等行動計画の立案力を高める。また「見える化」により進捗管理ができるようになる。
	6. まとめ 【個人ワーク】	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の研修を受けて、今後取り組んでいくことを決める。 ● 自己宣言する。
	7. 講師講評	
16:30		